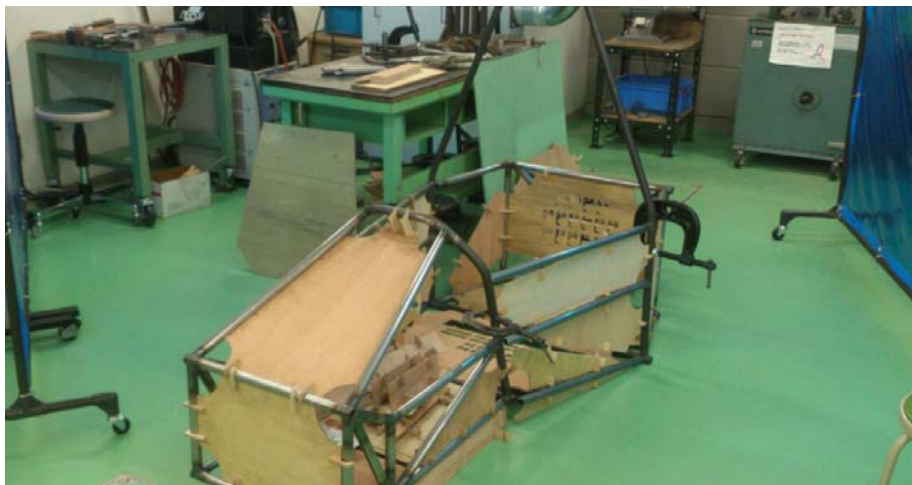




4年ぶりの大会出場 新チーム始動!!

エフシーアイティーレーシング チーム
FCIT Racing Team
<http://www.fcit.jp/blog/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **FCITR-01**

2014年度製作車両FCITR-01は、新チーム初の製作車両であるため、作りやすさを重点に置いた思想のもと設計、製作を行いました。フレームでは、パイプの外径を統一することによって端面加工する時エンドミルを交換せず全ての加工を行うことができます。また私たちのチームでは場所の関係上、定盤を用いることができなかったため、その代替としてベニヤ板を用いてフレームを製作しました。これによって溶接する前に仮組みを行うことが可能となり、実物でどのようなフレームになるのかを確認する事ができます。また溶接する順番も効率的に決める事ができるため、生産性の向上も期待できます。

パワートレインでは、CVTを用いることによりシンプルな機構にできます。また、シフト操作をなくしドライバーへの負荷を減らしました。ベルトによってトルクが伝わるのでシフトによる振動がなくスムーズな加速ができます。

今年は、ダンパー等の足まわりの設計不良やステアリングの調整不足などで車検通過ができず動的審査に参加できませんでした。来年は、今回の経験と頂いたアドバイスを生かし、万全な準備としっかりしたマシン設計を行いたいと思います。

Participation report 参戦レポート

今年度の大会には全ての種目への参加、完走を目的として挑みました。しかしスケジュールとメンバー間での連携がうまくいかず試走もままならない状態での大会参加になりました。

1日目は、メンバー全員でパーツの取り付け作業を行いデザイン審査に臨みました。

2日目はプレゼンテーション審査とコスト審査のリアルケースシナリオがありました。全ての審査でレギュレーションの理解不足と準備不足を感じるようになりました。とても悔いが残る結果でした。

3日目は、車検を行いました。しかし最終段階での製作に余裕がなかったため万全な状態で車検を受けることはかなわず多くの指摘を受けました。その後指摘された箇所の修正を試みましたが、残念ながら車検を通ることができませんでした。

4、5日目は各項目のフォローアッププログラムと車検フィードバックに参加しました。ここでは、車検員や審査員の方々から製作する時の注意点や、発表する時どういった事を考えて話せば良いのかなど、来年度のマシン製作に繋がるアドバイスをもらいました。

今回、チームの設立から大会参加まで全力で行い、とても濃密で有意義な時間を過ごしてきました。しかし最終目標であった全ての審査に参加することはかなわず、反省点の多い結果になってしまいました。来年度はこの悔しさと経験をばねに全種目参加をめざし努力していきます。

今回の総合結果・部門賞

●総合 73位

Profile チーム紹介・今までの活動

千葉工業大学FCIT Racing Team は、2011年度から新チームとしての再開をめざし活動してきました。当初は場所も資金もない状況でしたが、メンバーの情熱と努力が実り今年の大会に出場する事ができました。チームメンバーは14人で、1~3年生が中心で活動している将来性のあるチームです。

Team-member チームメンバー

畔野 智晴 (CP)

村越 茂 (FA)、村上 祐貴、渡邊 章人、
和田 潤一、栗原 槇之助、關 亜実、大庭 誠晴、
宗宮 寛行、山崎 洋輝、小野 隼斗、伊藤 拓人、
小松 拓麻、古津 大地、神原 涼

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、谷津商事、京葉バンド、NTN、
協和工業、ミネベア、スズキ、日信工業、
TET'S RV CENTER、VSN、F.C.C.、ピーエムシー、
深井製作所、細瀬ラジエーター工業所、
レーシングサービスワタナベ、アールエーシー、ノザワホンダ